

当初予算ミニブック

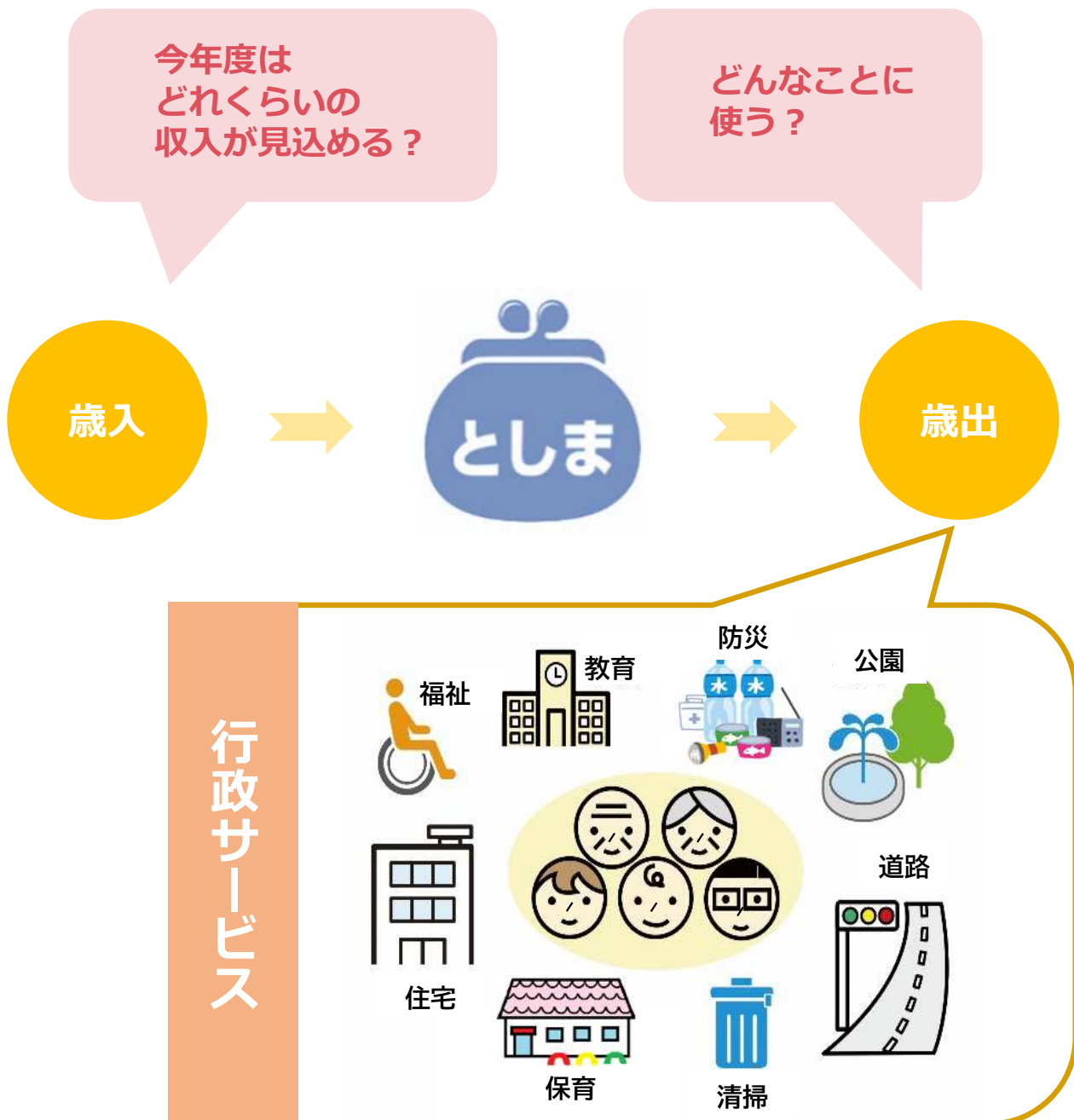
区民の思いを、かたちに。
としまの次の一歩。



令和
8年度

予算って何？

予算とは、1年間の収入と支出の見込みのことを指し、収入のことを「歳入」、支出のことを「歳出」と呼びます。区は、予算の執行を通して、福祉や教育、まちづくりなど様々な行政サービスを提供します。つまり、予算は1年間の行政サービスの計画ともいえます。



豊島区の予算はどれくらい？

地方公共団体の会計は、基本的な行政サービスを行うための「一般会計」と、特定の事業を行うための「特別会計」があります。

豊島区には3つの特別会計があり、すべての会計を合わせた令和8年度の予算は2,300億円となっています。

会計	予算額
一般会計	1,690億円
国民健康保険事業会計	298億円
後期高齢者医療事業会計	82億円
介護保険事業会計	230億円

全会計の合計
2,300億円

区民一人あたり
77万7,000円

※令和8年1月1日の人口で計算



区民一人あたりの金額に置き換えると、イメージがわきますね。

令和8年度一般会計

特別区税 419億4,189万円(24.8%)

特別区民税、軽自動車税、特別区たばこ税、入湯税、狭小住戸集合住宅税

地方消費税交付金 103億6,000万円(6.1%)

地方消費税の一部が区市町村に交付されるもの

特別区交付金 404億円(23.9%)

都と特別区の役割分担に応じて都区間で配分され、特別区間の行政水準の均衡を図るもの

国・都支出金

477億5,946万円(28.3%)

国や都から交付を受ける負担金・補助金など

特別区債 37億3,500万円(2.2%)

施設の建設経費などを賄うために国などから借り入れる資金

その他 247億8,970万円(14.7%)

地方譲与税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、基金繰入金など

予算総額










1,689億

歳入

みなさんが納めた「特別区税」や「特別区交付金」が歳入の約半分を占めています。



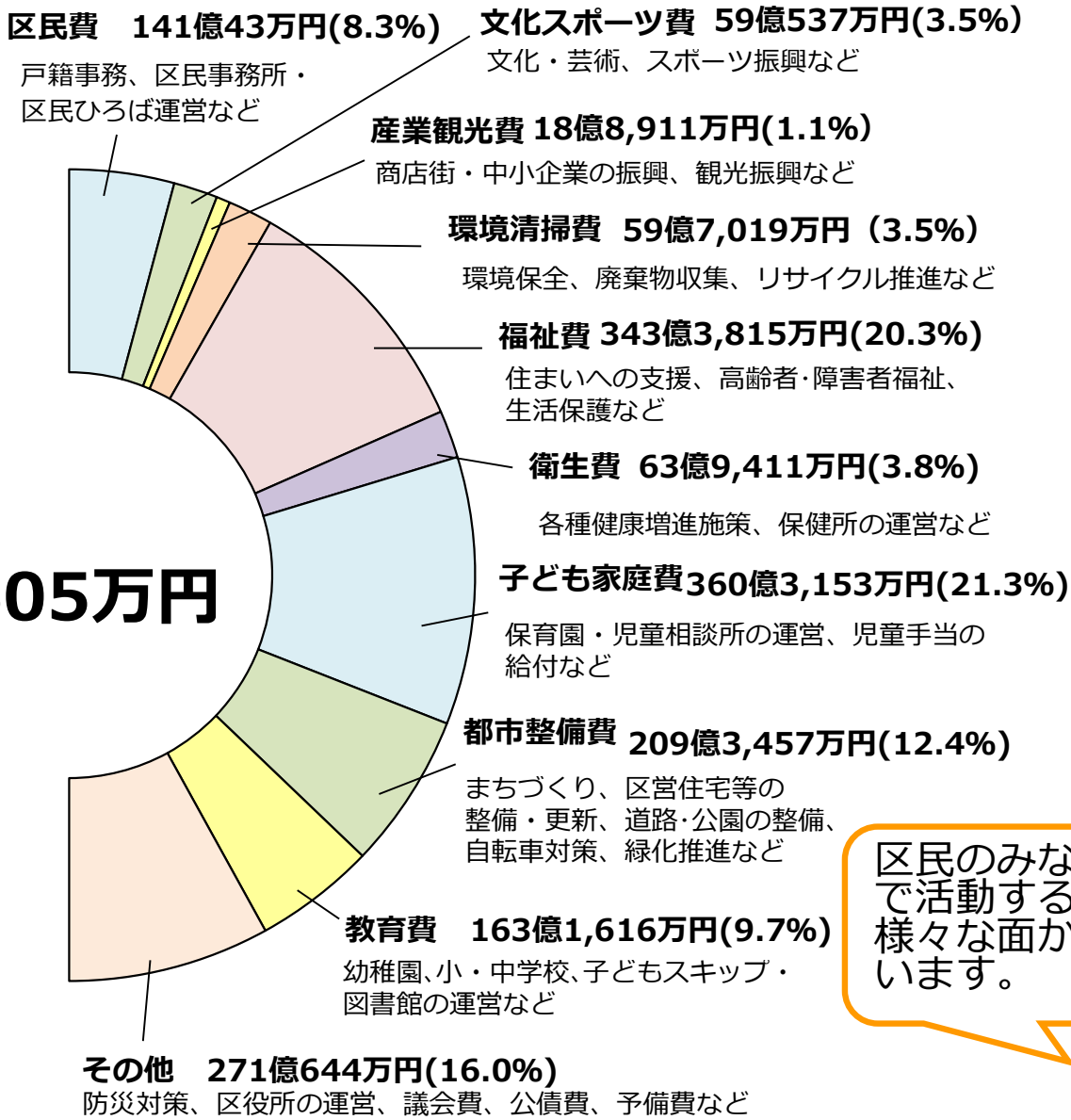
令和8年度予算を1万円に置き換えると、

住まいへの支援、高齢者・障害者福祉、生活保護など  2,430円	保育園・児童相談所の運営、児童手当の給付など  2,063円	幼稚園、小・中学校、放課後対策、図書館の運営など  1,032円	まちづくり、防災など  869円	広報、システム、その他区役所の運営など  725円
戸籍事務、区民事務所の運営など  175円	借入金の返済  160円	公園・児童遊園、緑化など  158円	区民ひろばの運営など  148円	

予算の全体像

一般会計

8,605万円



歳出

区民のみなさまや区内で活動する方々を、様々な面から支援しています。



このような使い道になります。

<p>各基金の積立て (貯蓄)</p> <p>678円</p>	<p>健康づくり、保健所の運営など</p> <p>378円</p>	<p>環境対策、清掃、リサイクルなど</p> <p>353円</p>	<p>文化、スポーツなど</p> <p>349円</p>	<p>道路、自転車対策など</p> <p>235円</p>
<p>商工業・観光の振興、勤労者福祉など</p> <p>111円</p>	<p>税を集めるための事務</p> <p>83円</p>	<p>区議会の運営</p> <p>40円</p>	<p>選挙・監査</p> <p>13円</p>	

予算をつくるとき、どんな工夫をしているの？



全件査定方式・事業見直し・事務事業評価

「全件査定方式」

- すべての事業で、政策経営部と各部局が実施手法や費用対効果等を議論しながら、予算編成する方式を採用
- ※令和6年度予算編成までは、各部局が自身の責任で予算を編成する「枠配分方式」を採用

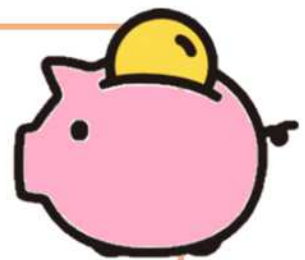
「事業見直し」

- 社会経済状況や区民ニーズの変化を踏まえ、事業の適正化、効率化等を図り、効果の高い事業へ再構築
- 生み出された財源は、新たな区民サービスに活用

「事務事業評価」

- 毎年度、事業の進捗や目標達成状況を確認
- 令和7年度からは、見直し中の事業についても定期的に進捗状況を確認し、さらなる改善につなげる。

基金（貯金）や区債（借金）の活用



- 多額の経費が必要な区施設の建設・改築や道路・公園整備などのまちづくりを行うときには、「特定目的基金」や区債を活用し、財源を確保します。
- 特定の目的ではなく、税収減などに備える「財政調整基金」を確保しています。
- 基金や区債の活用により、財源の年度間調整を行い、現在世代と将来世代との負担を公平にします。



見直しによる 財政効果

1.全件査定方式 5.9億円

2.事業見直し 1.9億円

3.事務事業評価 0.4億円

今後も財源確保とともに、より効果の高い事業を目指し、豊島区独自のPDCAサイクルを確立します。

合計約8.2億円の効果

貯金・借金の状況（令和8年度末見込）

- 急な減収などに備える「財政調整基金」は、目標額を定めており、8年度は目標を31億円上回る
- 「特定目的基金」は、学校など、老朽化施設の更新に向け、計画的に積み立てています

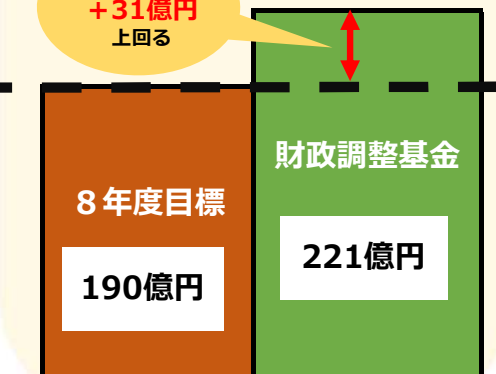
<財調基金目標>

190億円以上

→標準財政規模※の2割

※地方自治体の標準的な財政規模を示す指標

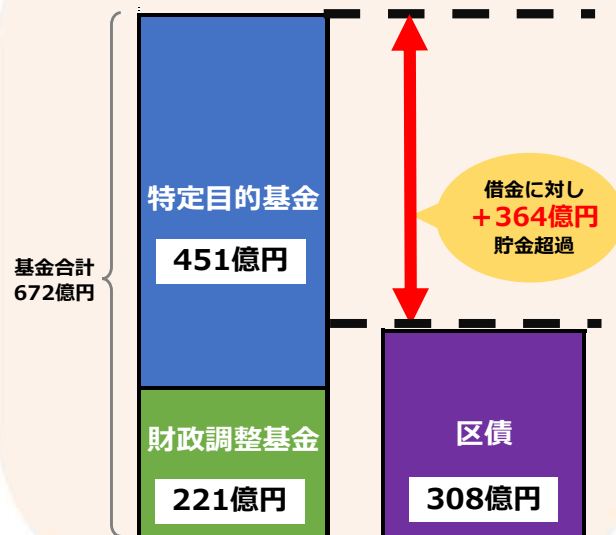
8年度目標に対し
+31億円
上回る



<貯金と借金>

貯金

借金



借金に対し
+364億円
貯金超過

令和8年度 予算

7つの柱

令和8年度予算は、「基本構想・基本計画」の実現に向け、歩みを加速し、持続可能な区政の礎となる予算です。
ここでは、令和8年度に実施する主要な事業を、基本計画に掲げた「7つのまちづくりの方向性」ごとに紹介します。



基本構想の実現に向けた取組みを加速化

3つの 継続する重点

3つの 新たな重点



新規・拡充事業全体（投資的経費を除く） **267**事業 約**60**億円を計上

1

地域と共に支えあう 安全・安心なまち

誰もが地域で安心して住み続けられるよう、地域コミュニティの活性化をはじめ、災害・治安や住環境等への対策をハード・ソフトの両面から展開し、地域と共に安全・安心なまちづくりを進めます。

運営訓練の展開



外国人も参加

実践型の防災訓練を
実現



豊島区防災アプリの
配信スタート



防災サポーターの創設



警視庁防犯アプリの
利用促進等を通じて
特殊詐欺被害を抑止!

✓ 主な実施事業

- 区民主導の避難所運営に向け、防災サポーターを創設！！
- 防災ポータル&アプリ始動！避難所の情報等を即時発信！
- 避難所備蓄物資の強化！（テントやエアベッドを完備、簡易トイレも拡充）
- 24時間利用できるAEDの設置（139台）による救命率の向上
- 日常生活に援助が必要な方向けの居住サポート住宅の供給を促進
- 民泊事業者への指導・監督の厳格化（一部屋旅館の実態把握、組織体制の強化）
- 町会活動を後押し（防犯カメラ電気料補助開始/掲示板助成単価UP等）

子育てしやすく、子ども・若者が 自分らしく成長できるまち

切れ目ないぬくもりのある支援により、安心して子どもを産み育てられる環境を作るとともに、子ども・若者の権利が尊重され、希望を持って学び、自分らしく成長できる笑顔あふれるまちづくりを進めます。

子どもの学習環境を充実！



23区初

就学援助の対象者等を拡大するほか、「学習応援費」を新設

スムーズな就学に
つなげるため
子どもの発達特性に応じた
支援ができる体制を整備



5歳児健康診査をモデル実施

✓ 主な実施事業

- 産後ケアの充実(宿泊型:3泊4日→6泊7日に！(通所型:3日、訪問型:2日))
- 区民ひろばで、子どもの体験活動や夏休みの居場所を創出
- 多文化キッズサロン開設！日本語を母語としない子育て世帯の孤立防止
- 就学援助の充実(対象者の拡大、支給額拡充と「学習応援費」の新設)
- 全区立小中学校に校内教育支援センター※1開設！（区立小にも設置）
- 学習情報センター※2(要小・巣鴨小)の整備を進め、子どもの学びを深化

※1 登校する習慣を身に付けたい児童向けの教室で、普通教室とは違った雰囲気の安心して過ごせる場所。

※2 プレゼンテーション機能等を兼ね備えたICT環境や、個別・協働学習スペースなどを充実させた新たな学びの拠点

生涯にわたり健康で、 地域で共に暮らせる福祉のまち

誰もが心と体の健康が維持された生活を送り、自分らしく歳を重ねることができるとともに、住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられるよう、本人が望む社会とのつながりや自立生活を支えるまちづくりを進めます。

「豊島区保健所」
令和8年5月7日開設



気づきを得て相談ができる、予防に重点を置いた健康づくりの場

わたしメンテラボの新設

測定機器で健康チェック

▶ 専門相談員のアドバイス



区内全域に拡大

入浴特化型デイサービスの拡充

介護・障害サービス事業所向け

福祉人材確保のための
支援金を支給



✔ 主な実施事業

- いつまでもいきいきと暮らせるための高齢者向けの支援を充実！
(入浴特化型デイサービスを区内全域に/補聴器・スマホの購入費助成等)
- 障害者の日常生活を強力的に支援！
(福祉タクシー券の支給額増/在宅レスパイト・就労等支援の年間利用上限拡充(144時間→288時間)/日常生活用具給付の種目追加/ストマ装具の基準額増/医療的ケア児等の介護等に係る経費を助成 **23区初** 等)
- 新保健所に健康づくり支援拠点「わたしメンテラボ」が誕生！

豊かな心と活発な交流を育む 多彩な文化のまち

地域の歴史や文化を守り伝え、新たな文化を受け容れるとともに、あらゆる人がより身近に文化を感じ、体験と交流ができる環境を整備し、世界とつながるアート・カルチャーが交差するまちづくりを進めます。

池袋保健所跡地に
令和8年7月開設予定



ホームタウンチームによる
スポーツ体験の実施

文化・スポーツ事業
による**子どもの
体験格差**の是正



アーバンスポーツ体験



舞台体験
(萬劇場)

としま文化応援団事業による
文化の裾野の拡大



保健所仮庁舎の跡地を活用した居場所を開設

子どもや若者が参加しやすい文化体験の場を創出。区内全域で子どもの文化芸術体験を応援できる機運を醸成

✔ 主な実施事業

- 子どもスキップ等で、子どもたちがアーティストや地域の方々との交流を通じ、演劇や音楽を楽しめる体験機会を創出！
- 保健所跡地でアーバンスポーツ体験などを夏休みからスタート！
- 文化施設の計画的な改修（芸術文化劇場・あうるすぽっと・としま区民センター）
- 区立図書館のリニューアル(上池袋R8.6月、千早R10.12月に開設予定)
- 千早地域文化創造館の改築（R9.4月開設予定）
- スポーツ施設の無料開放を継続（子どもの居場所・遊び場）

活気とにぎわいを生みだす 産業と観光のまち

女性や若者などの多様な起業家の支援や、中小企業の経営力強化や商店街の活性化などで、地域経済の持続的な発展を促進するとともに、マンガ・アニメ等の地域資源を生かし、国内外の来街者でにぎわうまちづくりを進めます。

ギャグマンガの王様誕生
赤塚不二夫展
(R8.4/4～7/26)をはじめ
様々な企画展を開催！



トキワ荘マンガミュージアム
企画展の充実

トキワ荘マンガミュージアムと
共に南長崎エリアをPR！



トキワ荘通り昭和レトロ館
の活性化

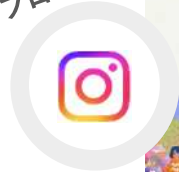


起業家支援の強化
若年起業家賃料支援



DX専門員による“DX相談”を実施、
DX補助金の新設

若者を中心に
インスタグラムで
直接アプローチ



区の魅力を発信！！

✔ 主な実施事業

- 中小企業賃上げ支援、DX化支援補助金等の拡充、相談体制強化
- 起業支援の強化（起業スクールの開催、若年起業家への賃料支援等）
- 商店街活性化への支援（プレミアム商品券への補助等/こども向けイベントの支援）
- シティプロモーションによる区の魅力発信を充実させ、来街者の誘致と回遊性を向上（IKEBUS観光ツアー/デザインマンホール蓋の設置等）
- 豊島区観光協会の体制強化を支援し、観光案内・発信等を充実
- 「トキワ荘通り昭和レトロ館」を中心に南長崎地域を盛り上げます！

共につくる 地球にも人にもやさしいまち

多様な主体が相互に協力しながら都市のみどりを育み、安全で快適な美しいまちを創出するとともに、脱炭素地域社会づくりを推進し、良好な環境を次世代へ引き継ぐまちづくりを進めます。



✔ 主な実施事業

- 集積所における小型充電式電池の回収を4月からスタート
- エコ住宅等普及の促進支援！（省エネ機器等への助成予算の拡充）
- 民間事業者と連携した粗大ごみのリユース促進
- 大塚駅周辺に公衆喫煙所を新規設置
- 池袋・大塚エリアで、民間団体と連携した街の美化活動を実施
- 町会・自治会等への活動支援強化（段ボール回収報奨金の支給 6円/kg）
- さまざまな体験型イベント等を通じた環境教育・啓発活動の推進

誰もが居心地の良い 歩きたくなるまち

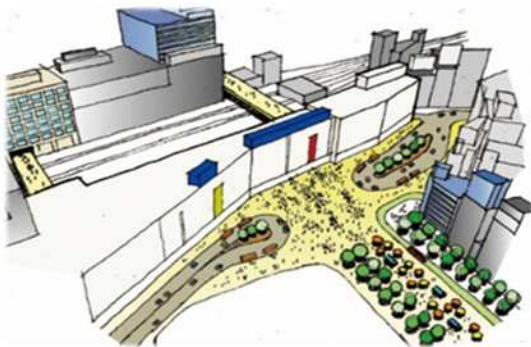
次世代に誇れる魅力ある都市を創出するとともに、各地域の魅力あるスポットを結び付け、区内全体を回遊性が高く、誰もが安全で歩きやすいまちづくりを進めます。



池袋駅東西自由通路
(デッキ整備イメージ) 概略基本設計



大塚台公園の改修 (R8年度工事着工)
R9年度リニューアル予定



池袋駅東口駅前再編推進事業
(整備計画案検討)



豊島区公園等再構築プラン策定に
向けたワークショップの様子

✔ 主な実施事業

- 池袋駅周辺地域におけるウォーカブルなまちづくりの推進 (西口再開発の事業計画策定に向けた基本設計/東口駅前広場再編に向けた整備計画案検討)
- 大塚駅南口の再開発に向けた事業計画の作成支援
- 地域の特徴を生かした魅力ある公園づくり
(高松三丁目へののびのび遊べる広場のある新たな公園を整備 等)
- 区立駐輪場の再整備のための具体的な実施計画の策定
- 将来的な区内の公共交通のあり方を示す「地域公共交通計画」策定

<参画・協働・共創の推進>



区民提案

区民による事業提案制度

区民の皆さんが日頃感じている課題の解決策を区に提案し、区民の投票により実現する提案を選ぶ制度です。令和7年度は、「健康」及び「多様性の尊重・多文化共生」をテーマに募集を行い、3つの事業を予算化しました。

【提案件数】 65件、【投票対象】 8件

こころと体の健康づくり

◆キッチンカーによる「まちかどカフェ」のオープン

身近な公園でキッチンカー等による「まちかどカフェ」を開催し、外出促進・地域活性化を目指します。

◆ケアする人が、ケアされる時間

支える側のケアラーが、自身の状況や悩みを共有し、疲労感や孤独感を解消する「語りの場」を開きます。



多様性の尊重・多文化共生

◆妊産婦・子育て世帯等の居場所事業

国籍を問わず、妊婦や子育て世帯が安心できる場所を提供し、子育て講座や多文化交流イベントを開催します。



企業提案

企業等による事業提案制度

豊島区を良くしたいと考える企業等から、地域課題の解決につながる具体的な提案を受け、提案した企業等が実施する事業に対し、最長3年間、区が支援を行う制度です。令和7年度は、豊島区基本構想に掲げる「7つのまちづくりの方向性」をテーマに募集を行い、1つの提案を採択しました。

【提案件数】 24件、【投票対象】 4件

◆未利用地を活用したコミュニティガーデンと菜園運営事業

区の未利用地を菜園として企業が整備し、地域の方が利用できるコミュニティガーデンを運営します。



写真：他自治体での未利用地活用事例

子どもの区政参画

「希望を持って学び、自分らしく成長できる笑顔あふれるまちづくり」を推進するため、子どもたちが自分の住むまちについて考え、意見を表明する機会を確保しています。

子どもの声を区政に反映

子ども目線で事業・取組みを改善し、実際に事業へと反映！！

子ども会議



子ども会議で生まれた声を...

新規事業

「外国人向け生活ルール等の動画の作成」を実現！！



他にも...

子どもスキップ

利用者会議



千早フラワー公園等で投票を行い、子どもたちから出た意見を豊島区公園等再構築プランにも反映！

公園でなにかしたい投票



子どもレター



“子ども”たちの世界が広がる豊島区の実現！

公共施設の整備・更新

区民の皆さんに身近な公共施設の整備・更新を計画的に進めています。

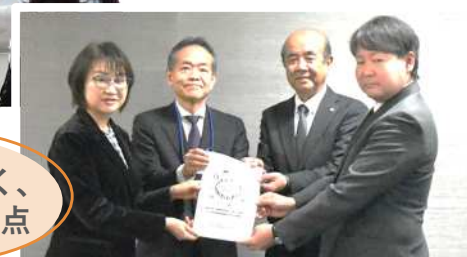
◆ 朋有小学校・西巢鴨中学校校舎一体型 小中連携校と総合体育場の整備

◆ 駒込地区仮校舎の整備及び 駒込中学校の改築



コンセプト

未来をひらく、
みんなの拠点



朋有小・西巢鴨中・総合体育場の
整備等を考える会からの提言



大学生
グループ
インタビュー



駒込中学校の建替え等を
考える会

◆ 上池袋図書館のリニューアル

「にぎわいのある図書スペース」や「落ち着いた図書スペース」に加え、飲食できるスペースもある、訪れるたびに新しい何かと出会える図書館が誕生します。
(令和8年6月6日開館)。



「みどりに囲まれたにぎやかな図書園」

令和13年度開設予定

◆ 重度障害者グループホーム等複合施設の整備

重度障害者グループホームを新たに誘致し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる基盤を整備します。
(高松三丁目：旧高松第一保育園の活用)



◆ 児童養護施設の誘致

区内で暮らすことが望ましい子どもの受け皿となる児童養護施設を誘致し、課題を抱えた子育て家庭への支援環境を整えます。
(千早四丁目：西部子ども家庭支援センター移転後の跡地を活用)



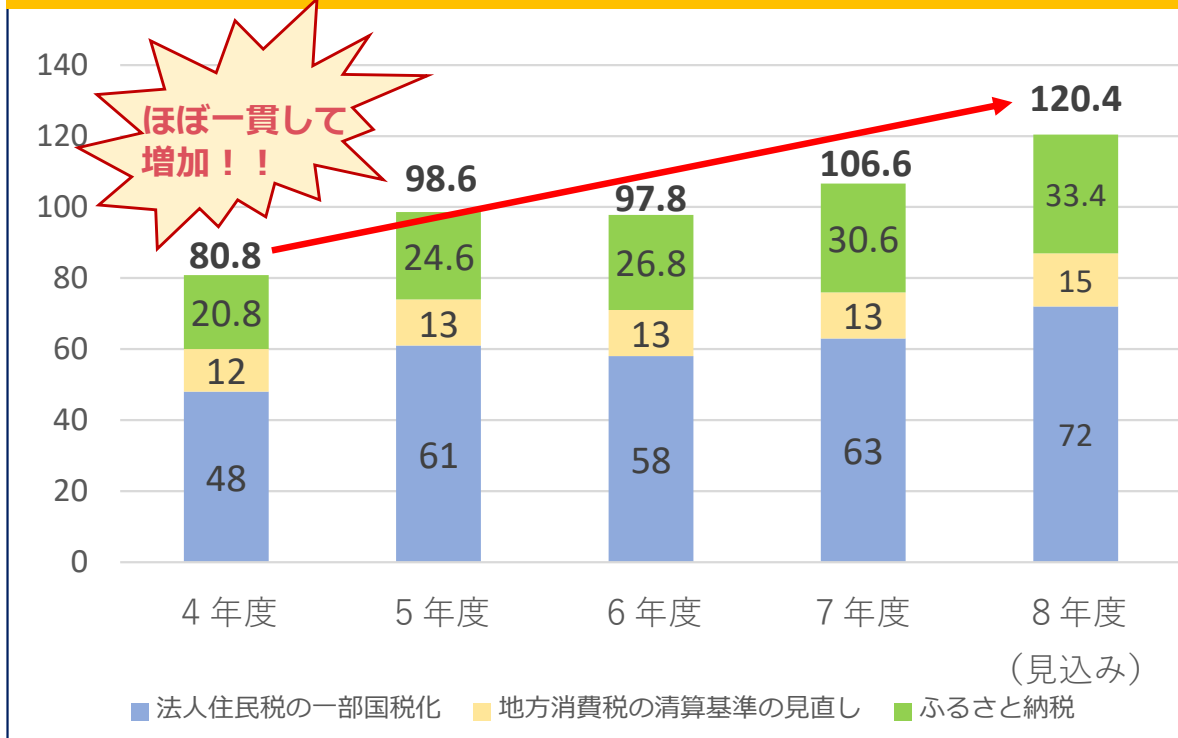
ふるさとと納税などの影響

～みなさんのサービスが低下しています～

ふるさとと納税など、国による不合理な税制改正により、豊島区では令和8年度（見込み）は120.4億円、累計で772億円もの財源が失われています。

自治体のサービスは、その自治体の税収入などで負担するべきものですが、このまま財源の流出が続くと、本来できたはずの施策ができなくなるなど、区民サービスの低下につながりかねません。

直近5年間のふるさとと納税などの影響額（単位：億円）



何が
772
億円で
できる？

小学校改築 8校分



ごみ収集・運搬・処理 14年分



道路・公園の維持管理 32年分



令和8年度税制改正大綱では、「利子割交付金の清算制度」の導入、「固定資産税・法人課税への措置」の検討が予定され、今後もさらなる財源の流出が懸念されます。

豊島区は、東京都と連携しながら特別区長会を通じて、不合理な税制を是正するよう、国に求めています。

↓詳細は区HP
よりご確認
いただけます。





豊島区
TOSHIMA CITY

令和8年度 当初予算ミニブック

令和8年（2026年）3月

編集・発行 豊島区政策経営部

〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1

区の計画・予算に関する資料は
豊島区ホームページでも
閲覧できます。

右の二次元コードを読み取って
アクセスしてください。



当初予算ミニブック



基本構想・基本計画